

2019 年度事業計画

公益財団法人 **神奈川芸術文化財団**

I 2019 年度財団経営方針

1 財団を取り巻く諸課題

(1) 指定管理業務と財団運営

神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂の3館の第3期（2016年4月～2021年3月）の指定管理業務を、引き続き着実に遂行していくとともに、2021年度からの次期指定管理について、具体的な提案準備の作業を進めていく必要がある。

他方、県民ホール、音楽堂では相次いで長期休館を伴う県による改修工事が行われたが、2020年度には芸術劇場も開館10年を迎えるなど、電子機器の更新を伴う施設の計画的な長期修繕や長寿命化について、設置者である県と有効な対応策を協議していく必要がある。

また、働き方改革への積極的な対応、「ともに生きる」共生社会の実現に寄与する取り組みや障がい者雇用の推進など、県主導第三セクターとして、また公益法人として、今まで以上に県民の信頼に応えることができるよう適正な財団運営を行っていくことが求められている。

(2) 政策環境の変化

① 県の文化政策

2018年度に改定される県の「かながわ文化芸術振興計画」において、文化芸術振興施策の推進体制における文化芸術団体として当財団が初めて明記され、神奈川独自の地域性、発信力と国際的視点を備えた質の高い芸術作品の鑑賞機会の提供のほか、学校等の教育施設や社会福祉施設等と連携、県民への積極的な情報発信等について、新たに期待されることとなった。

また、県と当財団との協働のもと、「伝統」「共生」「国際」「東京2020大会」などの重点施策に沿った、芸術劇場の機能を活用した神奈川オリジナル作品の創作や、地域の市町村・文化芸術団体等との連携・協力を通じた文化振興などが期待されている。

② ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック

2019年秋のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの両大会の成功に向け、本県においても様々な文化プログラムの展開が予定されている。

訪日外国人を含めた新しい観客を創り出す魅力的なコンテンツの提供や、高齢者・障がい者による芸術活動の紹介、文化芸術による地域の地域活性化が期待されるとともに、それらの成果を2021年以降にレガシーとして継承していくための仕組みを用意していく必要がある。

③ 文化芸術推進基本計画の策定

2017年6月に改正された文化芸術基本法では、観光・まちづくり・国際交流などの関連分野が法律の範囲に取り込まれた。さらに2018年3月には文化芸術推進基本計画（第1期）が閣議決定され、文化芸術から生じる社会的・経済的価値との好循環に着目があったほか、人材育成や地域の文化芸術を推進するプラットフォームの整備が謳われている。

また、2012年に制定されたいわゆる「劇場法」において、劇場・音楽堂等には創造・発信の役割のみならず、地域社会の活性化や専門人材の養成等に寄与する文化拠点としての役割を担うことが打ち出されている。

2 2019年度の重点方針

(1) 第3期指定管理業務の着実な実施と自律的な運営能力等の向上

① 文化事業の着実な推進

文化事業においては、一柳慧神奈川芸術文化財団芸術総監督と白井晃芸術劇場芸術監督による芸術方針と、新たに4月に着任する長塚圭史芸術劇場芸術参与と沼野雄司県民ホール・音楽堂芸術参与の助言に基づき、各館の機能・強みを最大限活用して、創造性、企画性、発信性の高い公演を積極的に展開する。

県民ホールでは、昨秋好評を博した「アイダ」に続き名作オペラ「カルメン」を国内公共劇場との共同制作で上演するほか、近年の現代美術をリードしてきたやなぎみわの巡回展を開催する。

芸術劇場では白井芸術監督による「春のめざめ」を再演するほか、「恐るべき子供たち」「怪人と探偵」、長塚圭史による「常陸坊海尊」などの創作活動に取り組む。また、3作目となる劇団四季による名作ミュージカルのロングラン公演を実施するなど、賑わい作りや県民の鑑賞ニーズに応える。

改修休館明けとなる音楽堂では、リニューアルを記念してバロック・オペラ「シッラ」と現代オペラ「サイレンス」を上演するほか、開館65周年記念に相応しい音楽事業を実施する。

なお、自主事業の実施に当たっては、事業収入向上や財源構成の適正化、外部資金等の獲得により事業の拡充を図り、「芸術性」と「経済性」のバランスの取れた運営を目指す。

② 自律的な運営能力等の向上

指定管理者の選定経緯を踏まえ、県民の期待に責任をもって応えられるよう、コンプライアンスに配慮した透明性の高い経営や施設運営を行うとともに、「働き方改革」を全財団的に強く推し進め、適正な人材配置や効率的な業務プロセスの構築など、機動的な組織整備を実現していく。

さらに、運営改善のための事業評価の仕組みを活用し、指定管理者及び県主導第三セクターとしての自律的な運営能力とサービス水準の一層の向上に取り組むことにより、説明責任を果たしていく。

③ 次期指定管理に関する準備

外部有識者の検討委員会と職員とによる1年半に及ぶ議論と編纂作業を経て、中長期的な財団の望ましいあり方を示す文書「財団ビジョン2025」が、2019年3月に作成された。

その文書の内容などを参考に、2021年度からの次期指定管理について、全財団的な取り組み体制を整備しながら、具体的な提案準備の作業を進めていく。

(2) 環境変化への対応

① 県域の文化振興に関する業務

「かながわ文化芸術振興計画」の文化芸術振興施策の推進体制に当財団が明記されたことを踏まえ、高齢者・障がい者等による芸術活動への支援・紹介や、文化芸術による県域の地域活性化の取り組み、国際文化交流に関する事業など、県が企画立案する県域の文化施策業務の受託に継続して取り組む。

② ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックのレガシー

外国人や障がい者等の芸術文化へのアクセシビリティの改善に取り組むほか、芸術表現の拡張、国際文化交流、文化プログラム認証を活用した広報、広く多様な人々の参加の実現など、ワールドカップやオリパラによって得られた種々の成果が、2021年以降も継続されるレガシーとなることを念頭に事業を行っていく。

また、訪日外国人や国内各地から多数の来場者も想定されるため、施設の安全対策やセキュリティの確保など、必要な対策を講じていく。

③ 文化庁補助金に関して

2018年度から文化庁補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）の取り扱いが独立行政法人日本芸術文化振興会（いわゆる日本版アーツカウンシル）に移管され、同振興会のプログラムディレクター（PD）やプログラムオフィサー（PO）による事業点検や意見交換などが実施されることとなった。専門家によるヒアリング結果や評価等を、財団事業の水準向上や他劇場や関係機関等との連携強化などにも生かしていく。



神奈川県民ホール



KAAT 神奈川芸術劇場



神奈川県立音楽堂

(KAAT 撮影：森日出夫)

※次頁以降の凡例（**公1**、**収1**、**収2**、および**法人**）は、公益認定および会計上の分類を示す。

◆公益目的事業

公1 芸術文化事業およびそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究及び人材育成

◆収益事業

収1 駐車場の運営に関する事業

収2 大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業

◆法人会計

法人 法人の運営に関すること

II 事業概要

1 3館合同プロジェクト

○目標

- ・「芸術監督プロジェクト」では、両芸術監督の高い芸術性と美学に裏付けられた自由な発想で、様々なジャンルを横断的に取り上げ、次の時代を切り拓いていく芸術のあり方を提示する。2019年度については、2020年度芸術監督プロジェクトの準備事業を実施する。
- ・「オープンシアター」では、横浜都心臨海部が1年の中で最も賑わう「横浜開港祭」の時期に合わせて、同地域に点在する3館を面的にとらえ、施設を街へと開く事業展開で県民に向けた芸術文化の普及啓発や多彩な芸術との出会いを提示するとともに、外国人や障がい者等への鑑賞支援を推進する。

【3館合同プロジェクト】

オープンシアター2019（芸術文化鑑賞普及事業）[3事業]

開催予定日	会場名	公演名（予定）	内容
6月2日(日)	県民ホール	オープンシアター2019 (県民ホール)	東京バレエ団「白鳥の湖」第3幕を中心としたハイライトを上演するほか、室内楽コンサート、キッズ・プログラム、ギャラリー展覧会、ワークショップ等関連事業も同時開催。全館において手話および多言語対応通訳者を配置予定。
6月2日(日)	芸術劇場	オープンシアター2019 (KAAT)	劇場開放のイベントを実施。スタジオでのバックステージツアー等を予定。
6月1日(土)	音楽堂	オープンシアター2019 (音楽堂)	1年間の改修休館後のリニューアルオープン初日として、建物全体を会場にファミリー向けのプログラムを実施。前川國男の名建築の紹介ツアー、ホワイエでのコンサート、ワークショップ等、名建築・音楽ホールという2つの軸で芸術空間に親しんでもらう仕掛けをする。

2 神奈川県民ホール

(1) 芸術文化事業 公

ア 芸術文化創造振興事業

○目標

- ・国際的な水準を満たす多彩で良質な芸術文化を創造するとともに、県民により多くの鑑賞機会を提供する。
- ・芸術総監督のディレクションによる新しい表現の追求と意欲的な芸術文化を創造発信する。

○特記事項

- ・共同制作オペラ「カルメン」(大ホール)、「やなぎみわ展」(ギャラリー)をラグビーワールドカップ記念事業として開催。

【主催事業一覧】

芸術文化創造振興事業（ホール事業）[5事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
7月13日(土)	小ホール	三浦はつみ オルガン・リサイタル	小ホールの舞台正面に設置されているパイプオルガンの特性を活かし、オルガン音楽の魅力を広く紹介するシリーズ。
12月20日(金)		オルガン・クリスマスコンサート	
10月19日(土) 10月20日(日)	大ホール	神奈川県民ホール オペラシリーズ 2019 グランドオペラ共同制作 ビゼー作曲「カルメン」	他の劇場との共同制作を行い、単独では実現不可能な規模と質の舞台を実現する。2019年は札幌文化芸術劇場、愛知県芸術劇場、東京二期会、神奈川フィルと共に、ビゼーの名作「カルメン」を新制作にて上演。指揮：ジャン・レイサム＝ケーニック、演出：田尾下哲
12月29日(日)	大ホール	ファンタスティック・ガラコンサート 2019	年末恒例の人気コンサート。大ホールの特性を活かし、オペラ、バレエ、オーケストラの名曲、名シーンを一挙に集め、敷居が高いと思われがちなクラシックの世界をより身近に感じられるよう工夫する。

2020年 ①1月11日(土) ②1月18日(土)	小ホール	開館45周年記念 一柳慧プロデュース フラックス弦楽四重奏団 ①オール・アメリカン・プログラム ②一柳慧「弦楽四重奏曲」 全曲演奏会	小ホールの特性を活かし、2015年度に招聘し高い評価を得たフラックス弦楽四重奏団をニューヨークから再度招聘。
2020年 3月20日(土)	大ホール	松山バレエ団 新「白鳥の湖」全幕	チャイコフスキー三大バレエの一つ「白鳥の湖」に、オリジナル演出を加えた同バレエ団の人気作、新「白鳥の湖」をバレエ団総出演により上演。

芸術文化創造振興事業（ギャラリー事業）[2事業]

開催予定日	会場名	展覧会名(予定)	内容
1期展： 9月4日(水) ～15日(日) 2期展： 9月18日(水) ～29日(日)	ギャラリー 全室	第55回神奈川県美術展	国内有数の規模を誇る美術公募展(平面、立体、工芸、書、写真部門)。第52回(2016年度)より全国に規模を拡大して開催。県内の中高生を対象とした「中高生特別企画展」も同時開催。 厚木巡回展：10月1日(火)～13日(日) (会場)厚木市文化会館展示室
10月20日(日) ～12月1日(日)	ギャラリー 全室	やなぎみわ展 神話機械	90年代から現代美術界を牽引してきたアーティストの一人であるやなぎみわの約10年ぶりとなる大規模個展。また、本展にむけ大学等と連携した「モバイル・シアター・プロジェクト」を実施予定。高松、前橋、福島、神奈川、静岡の5か所を巡回する。

【共催事業一覧】

ホール [20事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	主催者
4月20日(土)	大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 県民ホール名曲シリーズ第5回	主催：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
5月4日(土・祝)	大ホール	横浜バレエフェスティバル2019 出演者オーディション 《ファイナル》公開	主催：ソイプランニング
8月3日(土)		横浜バレエフェスティバル2019	

5月14日(火)	小ホール	Ferris Concert Vol.68 フェリス・音楽の花束	主催：フェリス女学院大学
6月7日(金)		Ferris Concert Vol.69 フェリス・音楽の花束	
6月15日(土)	大ホール	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 県民ホール名曲シリーズ第6回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団
6月22日(土)	大ホール	ボローニャ歌劇場 ロッシーニ作曲 「セヴィリアの理髪師」	主催：神奈川県芸術協会
6月29日(土) 6月30日(日)	大ホール	英国ロイヤル・バレエ団 2019年日本公演 〈ロイヤル・ガラ〉	主催：日本舞台芸術振興会
6月30日(日)	小ホール	横浜シティオペラコンサートシリーズ”19 Vol.11	主催：横浜シティオペラ
7月6日(土)		横浜シティオペラコンサートシリーズ”19 Vol.12	
7月5日(金) 7月6日(土)	大ホール	ネザールランド・ ダンス・シアター	主催：NDT横浜実行委員会
8月20日(火)	大ホール	キエフ・クラシック・バレエ ＜チャイコフスキー夢の3大バレエ＞	主催：神奈川県芸術協会
8月31日(土)	小ホール	オペラ映画「カルメン」 特別上映会	主催：ティアントケイテレビム
9月14日(土) 9月16日(月・祝)	大ホール	英国ロイヤル・オペラ 2019年日本公演 ヴェルディ作曲「オテロ」	主催：日本舞台芸術振興会
9月22日(日)		英国ロイヤル・オペラ 2019年日本公演 グノー作曲「ファウスト」	
10月26日(土)	大ホール	アートダンスカナガワNo.12 「ねむり姫」	主催：神奈川県芸術舞踊協会
11月3日(日・祝)	大ホール	第68回神奈川県文化賞・スポーツ 賞贈呈式	主催：神奈川県文化賞・スポーツ賞 表彰事業実行委員会

11月4日(月・祝)	大ホール	ポーツァルト国立ワルシャワ室内歌劇場 モーツァルト作曲 「フィガロの結婚」	主催：神奈川芸術協会
12月6日(金) 12月7日(土)	小ホール	神奈川オペラフェスティバル'19 第2夜 モーツァルト作曲 「ドン・ジョヴァンニ」	主催：横浜シティオペラ
12月7日(土)	大ホール	松山バレエ団 「くるみ割り人形」	主催：松山バレエ団
12月21日(土)	大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会「第九」	主催：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
2020年 1月13日(月・祝)	大ホール	キエフ・バレエ	主催：神奈川芸術協会
2020年 1月19日(日)	大ホール	日本バレエ協会関東支部神奈川ブ ロック設立40周年記念 第35回自主公演 Ballet Art KANAGAWA 2020 「眠れる森の美女」全幕	主催：日本バレエ協会 関東支部神奈川ブロック
2020年 2月15日(土)	大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 県民ホール名曲シリーズ第7回	主催：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

ギャラリー [2 事業]

開催予定日	展覧会名 (予定)	主催者
6月26日(水) ～7月3日(水)	第58回日本現代工芸美術展	主催：現代工芸美術家協会、現代 工芸美術家協会(神奈川・静岡会)
7月25日(水) ～8月3日(土)	プレイバック・ザ・カナガワビエンナーレ —カナガワビエンナーレ国際児童画展 開催20回記念特別展—	主催：青年海外協力協会

イ 芸術文化鑑賞普及事業

○目標

- ・外国人、障がい者、高齢者、子どもたち等の多様な人々が、芸術文化の鑑賞機会を広く得られるよう様々な事業を提供する。
- ・舞台芸術に対する垣根を低くし、興味・関心を喚起する。
- ・人々が芸術に触れ親しみを持ち、劇場が地域に開かれ交流の場となる。

○特記事項

- ・鑑賞普及事業として、県内県西地域での巡回公演を行う。

芸術文化鑑賞普及事業 [6 事業]

★は3館合同プロジェクト（再掲）

開催予定日	会場名	企画名(予定)	内容
6月2日(日) (2回公演)	大ホール	オープンシアター2019 東京バレエ団「はじめての白鳥の湖」楽しいお話と第3幕★	東京バレエ団「白鳥の湖」第3幕を中心としたハイライト(神奈川県民ホール版)を上演。
5月29日(水) ～6月2日(日)	ギャラリー 第1展示室	オープンシアター2019 「ワタリドリの湖」(仮称)	旅をテーマに日本各地でユニークな活動を展開する2人組のアーティスト「ワタリドリ計画」による展覧会とワークショップを開催。映像、写真、絵画、立体作品などの展示のほか、ワークショップでは白黒写真に油彩で着色する絵葉書作成を予定。
6月2日(日) (2回公演)	小ホール	オープンシアター2019 「音楽のおくりもの」★	小ホールでは、オルガンを中心に共演者などを起用した室内楽コンサートを実施。同時に楽器見学、トーク、レクチャーなど、キッズ・プログラムの要素も盛り込み開催。
4月26日(金) 6月28日(金) 8月30日(金) 9月27日(金) 10月25日(金) 11月22日(金) 2020年 1月31日(金) 2月21日(金) 3月27日(金)	小ホール	オルガン・プロムナード・コンサート Vol. 370～378	1975年の開館以来年間継続的に開催しているオルガン・コンサート。オルガンアドバイザーの監修のもと年間テーマを設定し、そのテーマに沿ったプログラムを構成。基本的には入場料無料、共演者を交えた数回を低価格の有料とする。また、オーディションを行い若手演奏家へ門戸を広げ、近隣のオルガンを保有するホールとの連携企画等も実施。

<p>①9月28日(土) ②2020年 3月21日(土) ③日程調整中</p>	<p>小ホール</p>	<p>舞台芸術講座</p>	<p>①オペラ「カルメン」講座 講師：青島広志 ②チェンバロ講座 講師：大塚直哉 ③オルガン講座 講師：調整中</p>
<p>①8月4日(日) ②8月10日(土)</p>	<p>①南足柄市文化会館 ②秦野市文化会館</p>	<p>(巡回) オペラ「ヘンゼルとグレーテル」</p>	<p>オペラやクラシック音楽の普及を目的に、県西等県内地域にて開催。 2018年度県民ホールで制作上演した同作品を再演する。</p>
<p>9月25日(水)</p>	<p>杜のホール はしもと</p>	<p>(巡回) 舞台芸術講座</p>	<p>「舞台芸術講座」①のオペラ講座を県内地域の施設にて開催。県民ホールで開催するオペラ公演の鑑賞者裾野拡大に取り組む。</p>

ウ 人材育成事業

○目標

- ・地域の芸術文化振興と創造発信力の向上を担う人材を養成する。
- ・文化芸術の拠点施設の特性を活かし、未来の芸術文化活動の担い手となる実演家を養成する。
- ・施設運営に関する課題や解決策を、県内の他の文化施設と共有することで全体のレベルアップを図る。

○特記事項

- ・県内や近郊の音楽大学等と連携した事業を実施する。

人材育成事業 [2 事業]

開催予定日	企画名(予定)	内容
5月4日(土・祝) 8月1日(木) 8月28日(水) 12月29日(日) ほか	県民ホール 人材育成事業	<p><u>プロフェッショナルアーティスト養成</u> 若手ダンサー育成プログラム、若手演奏家推薦プログラム、オルガンやオペラのアンダースタディのオーディション事業を実施し、才能ある若手アーティストに主催公演等への出演機会を提供する。</p> <p><u>劇場運営マネジメント・プロフェッショナル人材養成</u> 神奈川県内文化施設の「施設利用担当者」を対象とする講座。各施設から担当者が集い、共に学び、悩み、考え、意見を交わすことで、県内文化施設全体のレベルアップに寄与することを目的とする。「これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取り組み」と、「基本を学びなおす」の二つのシリーズから成り、ディスカッションやワークショップを主体とした、実践的内容に重きを置く。</p> <p><u>劇場体験インターン</u> 主にオペラなど、公演制作を行うにあたり、稽古や制作実務でインターンを受け入れ、現場で体験し学ぶ機会を提供する。</p>
年間数回	県民ホール 大学連携事業	<p>若手の演奏家、及び制作者を養成するプログラム。 将来、演奏家や制作者を目指す音楽大学および大学院生を対象に、県民ホールでの公演実施を最終目標に、大学の講師陣、及びホールスタッフの指導による公演制作実習を年間にわたり実施する。</p>

(2) 施設維持管理運営事業 公1 収1 収2

ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

- ・誰もが国内外の舞台芸術及び展覧会等を鑑賞できる快適な会場環境を創出する。
- ・県民自らが様々な文化活動を行うための快適な場・サービスを提供する。
- ・窓口受付サービス、会場案内、舞台技術、警備、中央監視、清掃等の各委託会社及びレストラン・喫茶と協力しながら、適切かつ合理的な管理運営を行う。
- ・法令を遵守し、すべての利用者に公平公正かつ安全に配慮した運営を行う。
- ・県内有数の規模と機能を有する大ホールの舞台機構を、国内外の利用者及び関係芸術団体に周知することや、特例利用制度の活用により、優れた舞台芸術公演の誘致に努め、多様な県民ニーズに添えていく。
- ・自主事業と貸館事業の適切なバランスを図り、利用料収入の増収に努める。
- ・県と連携をとりながら、老朽化した施設の適切な維持管理を行うとともに、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの採用等、県民サービスの観点から時代に即した施設整備を行っている。
- ・2019年ラグビー・ワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、国内外からの来場者の増加に対応すべく、催し物情報の提供や館広報の充実を図っていく。

イ 県民ホールの施設を活用する事業 収2

- ・公益目的の利用（コンサートやオペラ、バレエ、発表会等）が見込まれない場合は、大・小ホール、会議室の機能を活かした各種大会、講演会、会議等の利用を促し、その収益は公益目的事業の財源に充当する。

ウ 駐車場の運営等 収1

3 KAAT 神奈川芸術劇場

(1) 芸術文化事業 公1

ア 芸術文化創造振興事業

○目標

- ・舞台芸術の新たな表現の可能性を探る試みを発信し、芸術文化の発展に貢献する。
- ・舞台芸術の未来を担う創造者や担い手と協働し、芸術文化に関わる人材の発掘、育成を図る。

【主催事業一覧】

芸術文化創造振興事業 [14 事業]

◆は KAAT Dance Series 2019

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
4月13日(土) ～29日(月・祝)	大スタジオ	白井晃演出 「春のめざめ」	白井晃芸術監督演出作品。近代戯曲を現代に蘇らせるシリーズで、2017年度の初演が好評のため再演を決定した。初演より一部キャストを変更して上演する。
4月14日(日) ～5月6日 (月・振)	中スタジオ	KAAT EXHIBITION2019 「小金沢健人展 Naked Theatre -裸の劇場-」	映像・ドローイングなどメディアを問わず作品を制作し、日本・アジアの枠を越え、世界的に活躍する現代美術作家・小金沢健人による個展。あわせてミュージシャン・ダンサーとコラボレーションして刺激的な空間を作り出す。
5月18日(土) ～6月2日(日)	大スタジオ	白井晃演出 「恐るべき子供たち」	白井晃芸術監督演出作品。「春のめざめ」の再演に合わせて、関連性のある新作を創作し、連作として上演。子供の残酷性を描く、ジャン・コクトーの小説「恐るべき子供たち」の舞台化。
5月27日(月) ～6月2日(日) 7月13日(土) ～16日(火)	中スタジオ	地点「シベリアへ! シベリアへ! シベリアへ!」 三浦基演出	2011年の開館時から継続して共同制作を行っている、劇団「地点」との新作公演。
6月中旬	大スタジオ	多田淳之介演出 「ゴドーを待ちながら」	韓国で最も権威のある東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞するなど、海外からの注目も集める演出家・多田淳之介がベケットの名作に挑む。

7月上旬	大スタジオ	松井周演出 「ビビを見た！」	劇的なストーリーと色彩感でカリスマ的人気を誇る絵本「ビビを見た！」を松井周が注目の俳優陣で舞台化。
9月14日(土) ～29日(日)	ホール	白井晃演出 「怪人と探偵」	白井晃芸術監督演出作品。江戸川乱歩の作品を題材にした、森雪之丞作詞による新作ミュージカル。
10月	大スタジオ	日仏コラボレーションプロジェクト 頭と口×Defracto 「妖怪ケマメ：L'esprit des haricots poilus」◆	フランスを拠点に、ジャグリングを軸に既存の大道芸やサーカスとは違う独自の身体表現を開拓するカンパニー「頭と口」による新作。フランスのジャグリングアーティスト「デフラクト」との共同制作事業。
10月12日(土) ～13日(日)	大スタジオ	横浜 JAZZ プロムナード	横浜市内では大小様々なジャズイベントを開催し、港町らしい進取の精神のもと、横浜の歴史、文化、ロケーションなどの利点を総合的に生かしたジャズ・フェスティバル。
11月	ホール	ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第4の長編～」(仮)	ケラリーノ・サンドロヴィッチがKAAT主催公演に初登場。「カフカ第4の長編が発見された！」という設定のもと、敬愛する作家・カフカになり代わった同氏による渾身の新作。
11月～12月上旬	大スタジオ	KAAT・KUNIO 共同製作 KUNIO15「グリークス」	若手演出家育成プログラムの演出家の一人として新作を創作する。2018年度の「オイディプス王」に続き、ギリシヤ悲劇に取り組む。
12月	ホール	長塚圭史演出 「常陸坊海尊」	芸術監督・白井晃が最も信頼を寄せる劇作家・演出家の1人長塚圭史氏による新作公演。東北地方の伝説をもとに、人間の生や性の問題を描いた、劇作家・秋元松代の大作に挑む。
2020年1月	大スタジオ	山田うん振付 「NIPPON・CHA!CHA!CHA!」◆	振付家・ダンサー山田うんが演劇に初挑戦し、如月小春没後20年の2020年に、「ダンス版」「演劇版」の2本を同時上演。
2020年1月	ホール	白井晃演出 ブレヒト「アルトゥロ・ウイの興隆」	ヒトラーをシカゴのギャング団のボスになぞらえた寓話劇を、ショースタイルの音楽劇として白井晃が再構築。

国際芸術交流創造事業 [1 事業]

開催予定日	会場	公演名	内容
2020年2月	複数施設	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM) 2020	横浜市内の各文化施設を利用し、舞台芸術の実験精神と都市のクリエイティビティを融合させる。また、質の高いコンテンポラリー・パフォーミング・アーツの情報交換やプレゼンテーション等を行い、横浜に根付いた舞台芸術の国際的交流と創造的深化を目指す。

【主な提携事業一覧】

提携公演 [11 事業] (予定)

開催予定日	公演名 (予定)	主催者
7月	地点「三人姉妹」	主催：地点
9月	快快「新作」	主催：快快
9月	庭劇団ペニノ「笑顔の砦」	主催：庭劇団ペニノ／合同会社アルシュ
10月	神奈川県演劇連盟公演「未定」	主催：神奈川県演劇連盟
12月	Baobab「ジャングル・コンクリート・ジャングル」	主催：Baobab
12月	DULL-COLORED POP 「マクベス(仮)」	主催：DULL-COLORED POP
2020年1月	別冊「根本宗子」「そのバレリーナの公演はあの子のものじゃないのです。(English ver.)」+新作公演	主催：月刊「根本宗子」／ヴィレッヂ
2020年2～3月	カンパニーデラシネラ 「どこまでも世界(仮)」	主催：カンパニーデラシネラ

2020年3月	OrganWorks「HOMO」	主催：OrganWorks
2020年3月	笠井叡「-DUOの會-」	主催：一般社団法人天使館
日程調整中	その他提携事業	主催事業と合わせて劇場のラインナップ全体を充実させ、多様な演目を県民に提供するとともに、劇場のイメージアップにも貢献する上質な作品や、賑わいを創り出す作品を「提携公演」として誘致する。

神奈川芸術劇場 地域・国際連携事業 [2事業] (予定)

主催：KAAT 神奈川芸術劇場（公益財団法人神奈川芸術文化財団）／神奈川県

◆は KAAT Dance Series 2019

開催予定日	会場	公演名	内容
10月	ホール	世界発信プロジェクト 韓国国立劇場×テロ・サーリネン 「VORTEX」◆	フィンランドを代表する振付家テロ・サーリネンが韓国の名門、韓国国立舞踊団の委嘱により振付した代表作が日本初上演。 作品制作&出演：韓国国立劇場舞踊団 振付：テロ・サーリネン
未定	県民共済みらいホールほか	共生共創事業	県の重点施策である「共生社会の実現」 「未病」などの取組とマグネット・カルチャー（マグカル）をクロスさせた新たな舞台芸術関連の事業。（2018年度から開始）

イ 芸術文化鑑賞普及事業

○目標

- ・より多くの方々に舞台芸術の素晴らしさを知ってもらい、心豊かな生活の一助となるような作品を劇場が創造し、広く提供する。
- ・日本のみならず海外からの劇団も招聘し、多様な演劇の楽しみを幅広い年齢層に向けて紹介する。

○特記事項

- ・キッズ・プログラムについては、オリジナルのレパトリー作品を増やす創作を継続し、今後とも再演や前年度の制作作品の全国ツアーを実施する。
- ・芸術監督と対話できるような無料企画を実施し、劇場に気軽に訪れていただく機会を提供する。
- ・伝統芸能を親しむための入り口となるような講座を開催し、理解を深めてもらう。

芸術文化鑑賞普及事業 [8 事業]

★は3館合同プロジェクト（再掲）

●はKAAT キッズ・プログラム 2019 公演

開催予定日	会場	企画名（予定）	内容
6月1日(土) ～2日(日)	複数施設	オープンシアター2019★	(再掲)
5月3日(金・祝) ～6日(月・振)	大スタジオ	「キッズ・サマーパーティー」●	0歳児から家族で劇場を楽しんでいただく企画。2018年度よりスタートし、2019年度も継続する。
7月下旬	大スタジオ	「グレーテルとヘンゼル」●	2018年度 KAAT キッズ・プログラムのオリジナルプロダクションとして製作した作品を、再演し、全国ツアーを実施。カナダで子ども向けとして制作された「グレーテルとヘンゼル」を、日本人キャスト2名による日本版として上演。
7月27日(土)、 7月28日(日)	大スタジオ	PONTEN PIE 「Loo」●	KAAT の国際文化交流の一環として、海外から優れた子ども向け作品を招聘する。スペインのカンパニー PONTEN PIE の体験型演劇作品。
8月上旬	大スタジオ	(招聘プログラム) ●	KAAT の国際文化交流の一環として、海外から優れた子ども向け作品を招聘する。

8月中旬	大スタジオ	「二分間の冒険」●	KAAT キッズ・プログラムのオリジナル作品の新作公演。人気の高い日本屈指のファンタジーの名作の初舞台化。
日程調整中	大スタジオ	SHIRAI's CAFE	白井晃芸術監督と交流のある音楽家をゲストに迎え、演奏とトーク、歌などもはさみながら、劇場に親しみを感じてもらおうトークセッションの企画。
日程調整中	その他	鑑賞普及事業（KAAT）	舞台芸術講座（伝統芸能を含む）、ワークショップ、バックステージツアー等を行い、広い観点から劇場、演劇、舞踊等の舞台芸術への理解と共感を深める。

地域等連携事業 [1 事業]

開催予定日	会場	企画名（予定）	内容
日程調整中	調整中	地域等連携事業	県内の地域において、その地域に相応しい事業を、自治体、文化団体、文化施設等と連携して実施する。

ウ 人材育成事業

○目標

- ・アートマネジメントの専門職員や舞台技術、劇場運営等を中心に、舞台芸術に関わる様々な人材を育成する。
- ・舞台芸術に直接は関わらない方々にも舞台芸術や劇場について様々な視点から理解を深めることのできる機会を提供する。
- ・障がいを持つ方々と舞台芸術との関係を、創作面、鑑賞面など多面的に深めていく。

人材育成事業 [1 事業]

開催日	企画名（予定）	内容
日程調整中	芸術劇場人材育成事業	<p><u>劇場インターンシップ（公演制作、舞台技術）</u> これからの劇場運営・舞台技術を担っていくスタッフの養成を目指して、現場実習を中心に研修を行う。</p> <p><u>舞台技術ワークショップ</u> 最新の機材や考え方、また舞台技術者が知っておくべき舞台芸術に関する一般的な内容の講義や実習等を行い、舞台技術者としての研修・交流を行う。</p> <p><u>劇場間人材交流</u> 山口情報芸術センター（YCAM）より、KAAT への舞台技術者の研修受け入れを実施する。</p> <p><u>音声ガイドを取り込んだダンスのワークインプログレス</u> ダンス公演の音声解説をもとに、ダンス公演を視覚障がいを持つ人も鑑賞できるプログラムとする取組み。</p>

(2) 施設維持管理運営事業 公1 収1 収2

ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

- ・芸術劇場では、整備段階から管理運営計画において4ヶ月間程度の貸館公演の誘致を想定しており、また、集客力のある作品を上演することで神奈川の舞台芸術の振興と普及に寄与できるとともに、観光振興など地域の賑わいづくりにも貢献できることから、劇団四季のロングラン公演（貸館）を実施する（2019年3月下旬～8月上旬、下記）。
- ・国内外の舞台芸術公演を楽しむための快適な会場環境を創出するとともに、劇場の高度な舞台設備や専門人材を活用した創造活動がスムーズに行われるよう、適切な施設の維持管理及び運営を行っていく。
- ・施設維持管理（ハード面）では、各種設備の特性や利用状況を踏まえ、日常の設備運用や保守、利用者への情報提供等を行い、利用者と観客の双方にとってより安全で快適な施設となるような維持管理を行う。
- ・施設運営（ソフト面）では、充実した設備やその機能を十二分に発揮できるスタッフの対応能力の高さ、実績等が認知されてきたことで、長期貸館の利用者がリピーターとして定着してきた。引き続きレセプションистや警備も含めた一層のサービス向上に努めるとともに、きめ細かな利用調整に努めて利用料金の増収を図る。
- ・2019年秋のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を見据えた、外国人・障がい者等の来館者対応として、鑑賞サポートの充実、ホームページの改修、職員研修などを順次計画的にハードとソフトの両面から進めていく。
- ・ホール特定貸館として、以下の公演を実施する。

開催予定日	会場	公演名	内容
2019年 3月～8月 (139公演予定)	ホール	劇団四季ミュージカル 「パリのアメリカ人」	2017年「オペラ座の怪人」、2018年「ノートルダムの鐘」に次ぐ、劇団四季によるロングラン貸館公演の第3弾。ガーシュウィン兄弟の代表曲が散りばめられた同名映画に想を得て2014年に舞台化されたミュージカルを日本語上演。(日本初演は2019年1月・東京)。 作曲・作詞：ジョージ・ガーシュウィン& アイラ・ガーシュウィン 台本：クレイグ・ルーカス 演出・振付：クリストファー・ウィールドン 日本語台本・訳詞：高橋知伽江

イ 芸術劇場の施設を活用する事業 収2

- ・公益目的の利用（演劇・舞踊公演等）が見込まれない場合は、学術会議あるいは講演会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

ウ 駐車場の運営等 収1

4 神奈川県立音楽堂

(1) 芸術文化事業 [公]

ア 芸術文化創造振興事業

○目標

- ・開館 65 周年、改修工事リニューアルオープンを機に、県立音楽堂のプレゼンスを再び高める。
- ・「優れた音響」「音楽ホールとしての伝統」「文化遺産的建築」という、音楽堂が持つ優れた資産を最大限に活用する。

○特記事項

- ・室内楽に重点をおき、独自性と質の高さを保ったクラシック音楽を主としたプログラムで、レギュラーラインナップ(ヴィルトゥオーゾシリーズ、アフタヌーン・コンサート)を開催する。
- ・65 周年記念企画及びオリパラ記念企画として、「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」をスタート。国際性、発信性の強いバロック・オペラと現代オペラの 2 本を実施する。
- ・2019 年 9 月にオープンする音楽堂前広場でのイベントとの連携等を通じて、文化の杜・紅葉ヶ丘としてのブランド形成を目指す。

【主催事業一覧】

芸術文化創造振興事業 [9 事業]

①<ヴィルトゥオーゾシリーズ>

世界レベルの室内楽奏者、ソリストによりクラシック音楽の王道を聴かせるラインナップ。

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
6 月 29 日(土)	音楽堂	中丸三千繪ソプラノリサイタル	日本を代表する歌姫、中丸三千繪による、オペラアリアの名曲や歌曲等のリサイタル(ピアノ共演者：安達朋博)。イタリアやクロアチアの知られざる歌曲を中心にしたプログラム。
9 月 29 日(日)	音楽堂	佐藤俊介とオランダ・バッハ協会管弦楽団	1920 年代設立以来、欧州の一流ホールでバッハや 17~18 世紀の名曲を掘り起こし発信してきた名門室内楽団の音楽監督に、若手ヴァイオリニスト佐藤俊介が就任。就任後初来日ツアーとなる。
11 月 30 日(土)	音楽堂	アルディッティ弦楽四重奏団(ソロダンス：小尻健太)	現代の音楽を驚異的なテクニックで演奏する世界随一の弦楽四重奏団によるコンサート。ソリストに小尻健太を迎え、今回のための新作ダンスとの共演を 1 曲加える。
2020 年 1 月 13 日(月・祝)	音楽堂	エリソ・ヴィルサラゼ・ピアノ・リサイタル	伝統を誇るロシアピアノイズムの継承者の一員として、かつて「グルジアの魔女」の異名で知られ、近年益々注目を集める実力派ピアニストの、円熟の境地を聴かせるリサイタル。

②<アフタヌーン・コンサート>

平日昼間に出演者のトークを交え音楽をリラックスして楽しむライフスタイルを提案。

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
8月23日(金)	音楽堂	山田和樹指揮 東京混声合唱団	4年目となる「東混×山和」のシリーズ。今年は『ジャズ』をテーマにプログラム展開。ソリストに山下洋輔を迎えて、ジャズ名曲を中心にトークと約30名の混声合唱を楽しく聴かせるコンサート。
10月12日(土)	音楽堂	アントネッロ「没後500年記念 レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」	万能の天才、レオナルド・ダ・ヴィンチの没後500年を記念し、彼が作曲、プロデュースしたといわれる幻のオペラを軸としたコンサートを実施。
2020年 3月20日(金・祝)	音楽堂	ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット	平野公崇をリーダーに、実力派の若手が結集したパワフルなアンサンブル。グループ名の由来となる武満徹作曲「一柳慧のためのブルーオーロラ」ほか、クラシックやポピュラーの名曲で彩るコンサート。

③<開館65周年記念／オリパラ記念／音楽堂室内オペラ・プロジェクト>

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
2020年 1月25日(土)	音楽堂	ボーダーレス室内オペラ／川端康成生誕120周年記念「サイレンス」 【フランス語上演・日本語字幕付】日本初演	川端康成の短編「無言」をもとに、映画音楽作曲家アレクサンドル・デスプラが作曲したモノ・オペラを日本初演（2019年2月ルクセンブルク、3月パリで世界初演）。演奏は現代音楽界で定評のあるアンサンブル・ルシリンほか。 ※ロームシアター京都でも上演あり
2020年 2月29日(土) ～3月1日(日)	音楽堂	バロック・オペラ ヘンデル「シッラ」全3幕 【イタリア語上演・日本語字幕付】日本初演	ファビオ・ビオンディ率いるイタリアのアンサンブル「エウローパ・ガランテ」によるバロック・オペラ。2017年、ウィーンにてコンサート形式で上演されたヘンデルの知られざるオペラを舞台版初演。彌勒忠史（演出）、ほか日本人スタッフによるプロダクションで制作。

【共催事業一覧】

共催公演 [14 事業]

開催予定日	公演名（予定）	主催者
6月8日(土) ～9日(日)、 6月22日(土) ～23日(日)	第62回 神奈川県合唱祭	主催：神奈川県合唱連盟
6月16日(日)	ダンスカナガワフェスティバル (神奈川県芸術舞踊祭 No.109)	主催：神奈川県芸術舞踊協会
7月6日(土)	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ 「モーツァルト+(プラス)」第13回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団
8月8日(木) ～10日(土)	第86回 NHK 全国学校音楽コンクール 神奈川県コンクール	主催：NHK 横浜放送局
8月18日(日)、 20日(火)	第62回 神奈川県合唱コンクール	主催：神奈川県合唱連盟
9月22日(日)	第29回 神奈川県ラフェスティバル'19 第1夜 オペラ・ガラコンサート	主催：神奈川県ラフェスティバル実行委員会
10月1日(火) ～4日(金)	第59回 「音楽堂・おかあさんコーラス」	主催：「音楽堂・おかあさんコーラス」実行委員会
10月6日(日)	トップコンサート PART32	主催：神奈川県新聞社
10月26日(土)	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ 「モーツァルト+(プラス)」第14回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団
11月14日(木) ～17日(日)	第34回 ヨコハマ・コンペティション (神奈川県芸術舞踊祭り No.110)	主催：神奈川県芸術舞踊協会
11月24日(日)	第53回 神奈川県名流三曲祭	主催：神奈川県三曲会
1月18日(土)	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ 「モーツァルト+(プラス)」第15回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団

2月11日(火・祝)	第42回神奈川県合唱フェスティバル ～東京オリンピック・パラリンピック開催記念～	主催：神奈川県合唱連盟
2月22日(土)	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ 「モーツァルト+(プラス)」第16回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団

イ 芸術文化鑑賞普及事業

○目標

- ・音楽堂のミッションとして掲げた「子どもたちへの音楽体験の提供」をテーマに、鑑賞普及事業に継続して取り組む。

芸術文化鑑賞普及事業 [4事業]

★は3館合同プロジェクト(再掲)

開催予定日	会場	企画名(予定)	内容
6月1日(土)	音楽堂	オープンシアター 2019(音楽堂)★	(再掲)
8月14日(水) ～17日(土)	音楽堂	三ツ橋敬子の夏休み オーケストラ！みんな でピカピカ☆編	子どもとその家族を対象に、4日間を通して複合的に音楽を楽しむ体験を提供する。オーケストラコンサートのほか「ジュニア・スタッフ養成講座」等の関連企画を開催する。 指揮：三ツ橋敬子 管弦楽：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 ソリスト：三浦友理枝(ピアノ) 講師：辻博行(声楽)／山本愛香(ボディパーカッション) ほか
12月15日(日)	音楽堂	第54回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会	神奈川県合唱連盟との連携しながら、音楽堂の歴史とともに培った恒例事業。 指揮：小泉ひろし 管弦楽：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 ほか ※関連企画の「未来プロジェクト」に県立高校生徒も参加予定
日程調整中	横浜市内／県内	子どものためのアウトリーチ小学校／養護学校	横浜市内2～3校の小学校、及び県立特別支援学校2校等で行っているアウトリーチ。休館中に県西部を対象に行った「二市八町」の成果等を活かして実施する。

(2) 芸術文化施設の管理運営 公1 収2

ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

- ・6月のリニューアルオープンに向けて、きめ細やかな事前打合せの実施、更新された舞台関係設備や各種設備の運転習熟、調整に取り組み、再開館後に利用者、来館者に不便をきたさぬよう適切な開館準備を行う。
- ・再開館後の管理運営にあたっては、空調管理システムが更新されたことから音楽専用コンサートホールとして相応しい良好な空調運転管理及び保守管理を行う。さらに、清潔で快適な環境を常に提供するなど、利用者サービスの向上に取り組み、高いホール利用率を維持する。
- ・親切ていねいな利用対応、休館日が祝日に当たる場合の臨時開館や、早朝利用等の弾力的な対応を行い、利用者・来館者の満足度向上を図る。
- ・各設備機器の中長期営繕計画を作成し、建物の長寿命化に取り組む。
- ・本年度は、開館65周年を迎えることから、記念事業やキャンペーン等を実施し、音楽堂のネームバリューの向上に努める。
- ・2019年9月からのラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、引き続き障がい者、高齢者および外国人のための情報提供やバリアフリー対策に取り組む。
- ・音楽堂の建築物としての魅力を発信していくため、新たにボランティアグループと連携した定期的な建築見学ツアーの実施に取り組む。
- ・県による紅葉ヶ丘景観改善工事に伴い、県立青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂及び横浜市民ギャラリーと連携し、紅葉ヶ丘地区の再活性化に取り組む。

イ 音楽堂の施設を活用する事業 収2

- ・公益目的（音楽公演等）が見込まれない場合は、講演会や研修会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

5 本部事業、その他事業

(1) 芸術文化に関する情報の収集提供 公

- ・情報誌「神奈川芸術プレス」を年6回（奇数月）発行し、芸術文化に関する情報を発信していく。県民ホール、芸術劇場、音楽堂の情報やアーティストのインタビュー、地域の文化芸術情報のほか、様々なコラム記事等を掲載し、幅広い県民が芸術文化に親しみを感じられるよう内容を充実していく。
- ・また、最新号からバックナンバーまでの Web 版「神奈川芸術プレス」を公開し、Facebook、Twitter 等の SNS と連動して、インターネット上でも広く情報を発信する。



「神奈川芸術 PRESS」2019 年 4・5 月号

(2) かながわメンバーズの運営 公

- ・会費無料のインターネット会員制度「かながわメンバーズ（愛称 KAmE: カメ）」を運営し、メールマガジンの発行による公演案内やチケット発売情報の提供、先行予約の実施などのサービスを行う。
- ・インターネットから 24 時間購入可能なチケット予約システムや、コンビニエンスストアでのチケット発券等のサービスを継続するほか、新機能を検証し積極的に導入する等、利用者の一層の利便性向上に努める。



「かながわメンバーズ」

(3) チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公

- ・主催事業の票券管理やチケット販売、また共催・提携・貸館公演のチケット販売受託を行うため、チケットセンター「チケットかながわ」を運営する。近年大半のチケット購入者が利用するインターネット予約システムが安定稼働するよう整備維持するほか、特に高齢者へのチケット販売時は電話・窓口で丁寧に対人対応をおこなうなど、利用者の立場に寄り添ったサービスを提供し、利用者満足度を向上させる。
- ・引き続きウェブサイトの多言語化に取組み、インバウンド対応を推進する。
- ・チケットの団体販売については、各種団体等への斡旋販売、福利厚生会員組織向けのインターネットを活用した販売を継続する。

(4) 資金調達活動 図1

ア 文化庁等からの補助金・助成金の確保

文化事業、広報活動及び人材育成等の充実、他劇場等との連携の拡大に取り組むため、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」等の補助金、一般財団法人地域創造、芸術文化振興基金及び民間の助成財団等からの助成金の確保に積極的に努める。また、独立行政法人日本芸術文化振興会の調査・ヒアリングに対応するなど、文化芸術分野への助成金の拡充施策に協力していく。

イ 賛助会員制度（寄付金）の運営

現会員に継続いただくとともに、新規の会員獲得のため、法人、個人への働きかけを積極的に行う。また、来館者、一般の方々の賛助会員制度への理解を深めるため、案内リーフレットの配布や Web サイトの充実等の方策を実施する。

インターネットを活用した寄付の受け入れを推進し寄付者数の拡大を図る。

ウ その他企業協賛金の獲得

賛助会員制度だけでなく、特定の公演や事業に対して支援をいただく個別協賛金や、広報媒体への広告出稿、公演に合わせた飲料等の現物提供など、幅広い支援をいただけるよう、法人、個人に働きかける。

(5) 管理組合の運営業務受託 図2

神奈川芸術劇場及び日本放送協会横浜放送会館合同施設全体の防災管理業務、並びに共用部の敷地・建物の清掃、保全、保守、修繕、植栽、塵芥処理及び消毒業務等の施設維持管理業務を受託する。また、合同施設アトリウム・レストラン・カフェの利用調整業務を行う。

(6) 法人本部の運営

ア 法人本部の運営 図3

理事会・評議員会等の運営、職員の資質向上のための研修の実施、事業評価の実施、その他公益法人の運営に関すること（総務、人事、会計、県との調整等）を行う。2019年度前半は音



インターネットを活用した寄付金募集

楽堂の改修工事が完了するため、県や委託業者等との調整業務を着実にを行うほか、2021年度からの次期指定管理について、着実な準備作業を全財団的に進めていく。

イ 地域文化振興事業（共生共創事業）の実施（再掲） 公

インバウンドを意識したコンテンツや民間施設等の発掘・積極的な活用を図り、神奈川県らしい魅力ある文化芸術の創出を促進することを目的に、マグカルの全県展開を推進する調査研究等の委託事業が2017年度から開始され、当財団が受託した。

2019年度から当該事業は、「共生社会の実現」「未病」とマグカルをクロスさせた共生共創事業に一体化される見込みとなっており、引き続き当財団はこの事業に応募するほか、ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックに向けた県の文化施策に参画する。

ウ 寄付講座の実施 公

財団本部の事業として、2019年度昭和音楽大学の授業「芸術文化と社会／芸術運営論」に出講（寄付講座として受託）し、当財団職員が劇場運営や事業等について分担して講義を行う。

（計2コマ）

○経営改善計画（第5次：2016年度～2020年度）より
来館者数（入場者数）、利用率等の目標数値（2019年度）

	来館者数（入場者数）	利用率
県民ホール	654,000 人	82%（大ホール ※）

※利用率は、県民ホールを代表するものとして、大ホールを対象とする。

	来館者数（入場者数）	利用率
芸術劇場	200,000 人	81.5%（ホール ※）

※利用率は、芸術劇場を代表するものとして、ホールを対象とする。

	来館者数（入場者数）	利用率
音楽堂	138,333 人	85%